

「スポーツの造形展 秩父宮記念スポーツ博物館コレクション」
滋賀県立美術館で「スポーツの造形展」開催！
2025年9月27日（土）～10月26日（日）

独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC:Japan Sport Council）が設置する秩父宮記念スポーツ博物館は、2025年9月27日から10月26日まで、滋賀県立美術館ギャラリーにて、「スポーツの造形展」を開催いたします。スポーツの資料には、競技用具のほか、表彰品やポスターなど様々なものがあり、その製造・制作に多くの人の手と意図が関わっています。この展覧会では、滋賀県立美術館を会場に、秩父宮記念スポーツ博物館の収蔵品約100点を通してスポーツにかかわる様々な資料の「かたち」をご紹介します。なお本展は「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」の文化プログラムとして実施します。大会が開催されることを機に、より多くの方々にスポーツ文化の奥深さを感じていただければ幸いです。



【開催概要】

主催	秩父宮記念スポーツ博物館、滋賀県立美術館
展覧会名 (正式)	「スポーツの造形展 秩父宮記念スポーツ博物館コレクション」
展覧会名 (略称)	「スポーツの造形展」
展覧会名 (英語正式)	「The Shapes of Sports: A Collection from the Prince Chichibu Memorial Sport Museum」
展覧会名 (英語略称)	「The Shapes of Sports」
会期	9月27日（土）～10月26日（日）
休館日	毎週月曜日（ただし10月13日（月・祝）は開館）、10月14日（火）
開場時間	9:30～17:00（入場は16:30まで）
会場	滋賀県立美術館 ギャラリー
観覧料	無料（他の常設展・企画展の観覧には別途観覧料が必要です）

【展示物（例）】

		
第12回明治神宮国民体育大会 参加章メダル金属原型	マラソン足袋 (明治-大正時代)	電気走調機(ペースメーカー) (東京芝浦電気株式会社、1961年)

【 ご来館予定の方へ 】

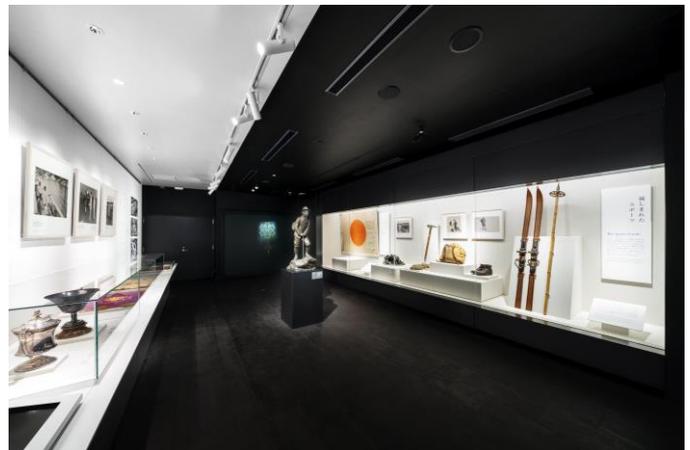
本展先の滋賀県立美術館では、展示室でも静かにする必要はなく、お話しをしながらご覧いただけます。また、目が見えない、見えづらいなどの理由でサポートや展示解説をご希望される場合や、その他、ご来館にあたっての不安をあらかじめお伝えいただいた際には、事前の情報提供や当日のサポートのご希望に、可能な範囲で対応します。

【 関連イベント 】 秩父宮記念スポーツ博物館学芸員による作品解説

日	時	9月27日（土）、10月11日（土）、10月25日（土） 各日15：15～16：15
会	場	滋賀県立美術館 ギャラリー
備	考	事前申込不要。ご希望の方は15:15までに会場にお集まりください。

【 秩父宮記念スポーツ博物館とは 】

- ◆ 秩父宮記念スポーツ博物館は、昭和天皇の弟君であり、「スポーツの宮様」として親しまれた秩父宮雍仁（ちちぶのみや やすひと）親王（1902-1953）の我が国スポーツ界に対する御功績を記念し、スポーツの振興に資するため、1959年1月6日に旧国立競技場内に開設された、日本で唯一の総合スポーツ博物館です。
- ◆ スポーツに関わる資料約6万件の他、専門図書約16万冊の蔵書があります。
- ◆ 2014年の旧国立競技場建て替え工事に伴って一時閉館しましたが、2022年1月に新国立競技場に「秩父宮記念ギャラリー」を開室しました。
- ◆ 現在は、新しい博物館施設での再開館に向けて準備を進めています。



秩父宮記念ギャラリー
(国立競技場内)

【 滋賀県立美術館とは 】

- ◆ 1984年8月26日に滋賀県立近代美術館として開館しました。
- ◆ 日本画家の小倉遊亀（滋賀県大津市出身）や染織家の志村ふくみ（滋賀県近江八幡市出身）のコレクションは国内随一を誇っています。
- ◆ 2024年度末時点の収蔵件数は2,729件です。
(日本画・郷土 1,303件、現代美術 636件、アール・ブリュット 790件)